

核兵器廃絶

オバマ米大統領が呼びかけ

品川区も行動するとき



核兵器廃絶訴え演説するオバマ大統領 AP

今年4月、オバマ米大統領が「核兵器のない世界」の実現を世界に呼びかけました。日本共産党は、この呼びかけを歓迎、早急に核廃絶の協議を開始するよう提案しています。

核廃絶へ世界が大きく動こうとしている時、北朝鮮が核実験を強行。核兵器を保有しようとする国も広がっています。いまこそ、非核宣言をしている品川区は核廃絶へ行動することが必要です。日本共産党は、品川区が中高生の平和教育だけでなく、①「非核宣言」を各国に送付して核廃絶を訴えること、②他の非核宣言自治体と協力して運動に取り組むこと、③区民の反核運動を支援することを求めています。

「たまゆら」を繰り返すな！
共産党区議団が「無届け施設」を視察

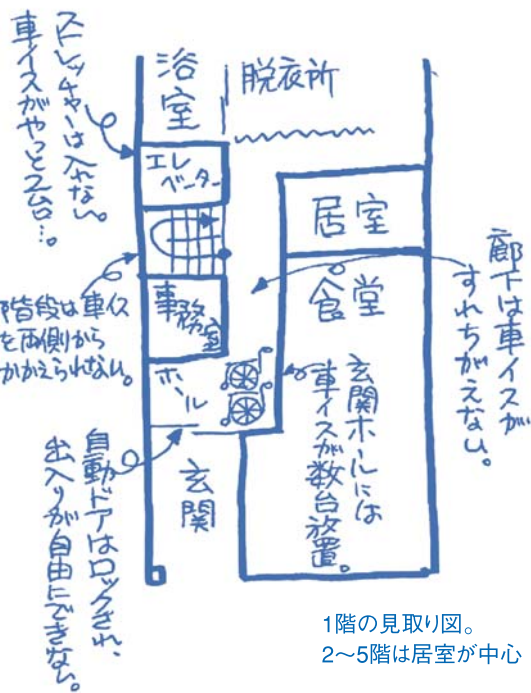
スプリンクラーなく、玄関はロック
火災から命守れない！

横浜市内の施設は一般ビルを改修したもので廊下は車イスがすれ違えない狭さ。エレベーターはストレッチャーが入れず車イスがやっと2台。玄関ロックは入居者には解除できないなど、素人が見ても火災への対応に問題がありました。

品川区も介護が必要で生活保護を受けている方を7名も都外の無届施設に入所させていました(5月14日現在)。共産党区議団はそのうち横浜市内の鉄筋5階建、相模原市内の木造施設を視察してきました。2ヶ所とも高齢者施設として届けをしていない「共同住宅」の位置づけ。スプリンクラーは設置されておらず、夜間の職員体制は、それぞれ2名と1名です。

特養老人ホーム増設こそ

品川区は、本来、特養ホームの入所対象になる方をこのような施設に送



1階の見取り図。
2～5階は居室が中心

総延長47kmに及ぶ中央環状高速道路。最後の区間となる品川線(9.4km・平成25年度完成予定)の工事がおこなわれています。換気塔が建設される五反田・南品川・八潮の沿線住民にとって大気汚染による健康被害が最大の心配です。こうしたなか、事業認可の前提となる環境影響評価に重大な問題が明らかになりました。

東京都は、現在の山手通り一日36000台が品川



大崎広小路から山の手通り目黒方向にみる換気塔のイメージ(高さ45m)。東京都作成

環境影響評価で交通量過小評価は大問題
中央環状品川線建設は中止を！

線開通により79000台へ2.2倍に増えると説明していますが、この想定そのものにごまかしがあったのです。都は、物流ビジョンや東京港改造計画に基づいて大井埠頭、横浜港、羽田空港を出発し環状七号線を利用していた大型コンテナ車両を品川線に誘導するとしています。しかし、環境影響評価には、この計画がはいっていません。6月4日に住民が説明を求めた際、東京都の担当課長は「ご指摘の通り」と認めています。

環境影響評価は、調査時点で他の事業計画や迂回路を利用する車両などをすべ

て想定し調査をおこなわなくてはなりません。しかし、皆さんの調査はたくさんあります。外環大泉で155%、有明では152%と影響評価をはるかに超える車両が増加。こんなことが品川線でもおこなわれているのです。区議会では、共産党の指摘に、濱野区長は「東京都は具体的な数字を示してはおりませんが…」といいながら「大気質の影響は軽微と伺っている」と答弁。喘息患者が増加しているなかあまりに無責任です。環境破壊の道路計画が進む背景には、90年代にアメリカから押し付けられた「13年間で公共事業に630兆円」という「公共投資基本計画」があります。品川線の総事業費は4000億円、そのうち2500億円は税金です。ムダな公共事業品川線建設は即刻中止すべきです。

日本共産党